



受章を喜び笑顔を見せる桑原さん

4 | 5 町政発展の 功績称え

桑原建治さんが
旭日単光章受章

桑原建治さん(大概)が旭日単光章(高齢者叙勲)を受章され、桑原さんの自宅で伝達式が行われました。

桑原さんは昭和46年4月小平町議会議員に当選し、5期20年の永きにわたり、町政の発展に尽力されました。また平成3年5月から4年間、町議会副議長の要職に就き職責を全うされるなど、今日の小平町建設に多大な功績を残されました。伝達式では、家族が見守る中、横濱町長から旭日単光章が手渡されました。



住民を代表して決意宣言する高野部長

4 | 8 交通事故 撲滅誓う

小平町交通安全
住民大会

小平町交通安全推進協議会主催の交通安全住民大会が文化交流センターで開かれ、住民や交通関係機関から約150人が参加しました。はじめに、横濱町長が「交通安全の重要性を再確認し事故のない安全なまちにしましょう」とあいさつし、その後、留萌警察署の佐々木好明交通課長が講演を行ったほか、住民を代表して、南るもい農業協同組合女性部の高野幸子部長が決意宣言を行いました。終了後は、参加者全員で国道232号沿道で交通安全旗の波作戦を行い、通行車輛に安全運転を訴えました。



稚魚が野鳥等に襲われないように施設上部に網をかける関係者

4 | 15 元気に戻れ と願い込め

幌沖内川で
サケ稚魚放流

サケ稚魚放流作業が幌沖内川上流で行われ、新星マリン漁業協同組合道立水産ふ化場、町の職員ら関係者12人が、サケの稚魚70万匹を稚魚中間育成施設へ放流しました。

70万匹の稚魚は、早朝、道立水産ふ化場道北支場から約1時間かけて稚魚中間育成施設に輸送されました。今年の稚魚は約5センチ前後で、成長具合もばらつきがなく平年並み。回帰率を高めるため、約2週間中間育成施設で2次飼育された稚魚は、4月30日に川に放流されました。



「元気に育って」と願いを込め行われた定植作業

4 | 17 順調な生育 に期待

高桑さん宅で
メロンの定植開始

高桑雄一郎さん(寧楽)宅で、町内トップを切り、アイボリーメロンの定植作業が始まりました。高桑さん宅では、春先の低温と雪解けの遅れから、今年は例年より約2週間遅らせての定植作業となりました。この日は、室温が30度ほどに保たれたビニールハウス2棟に、アイボリーメロンの苗約600株を丁寧に植えました。植えられた苗は、毎日温度管理や手入れが行われ、7月上旬頃に出荷される予定です。